

## 7 ベトナムの印象

柴田 弘捷

あのベトナム戦争を戦い抜き民族独立・南北統一を勝ち取ったベトナム、市場経済の導入と対外全面解放を二本柱とするドイモイ（刷新）政策により高度経済成長を遂げつつあるベトナム、日本を含む先進国からアジアの新たな投資・企業・工場の海外進出先として熱い視線を浴びているベトナム。

この程度の知識をもって、ベトナムの産業の実態（日本のハイテク産業の進出状況を含めて）とベトナム人民の生活への好奇心で社会科学研究所のベトナム調査旅行に参加した。わずか8日ばかりでいくつかの工場を見ただけであり、しかも言葉も出来ない身では十分な質問も出来ず、ベトナムの産業の実態把握が十分に行えるはずもなかった。しかしいくつかの工場を見せていただいたことでベトナムの工場のレベルを実感できたことは幸いであった。しかし、本稿では産業の問題ではなく、かいま見たベトナムの印象をいくつか述べることでその責を果たすことにしたい。

### ベトナム戦争の痕跡

はじめはやはりベトナム戦争である。私たちが見たベトナム戦争の証言は、ホーチミン市にある「戦争証跡博物館」とホーチミン市に隣接するクチの地下トンネルである。これらはベトナム政府によって、アメリカ帝国主義の残虐性とベトナム人民の抵抗を示すものとして作られ、あるいは意識的に残され、国民や外国人の見学に供されている。これらについてはすでにいくつかの詳しい報告があるのでその内容は記さないが、「戦争証跡博物館」では戦争が生み出す残虐性・非人間性を実感し、クチの地下トンネルでは1945年のフランス再侵略時からベトナム戦争終結までのベトナム人民の自由と独立、南北統一への強固な意志と知恵、筆舌には尽くしがたいほど苦難に満ちた戦いであったことを実感させられた。

ベトナム戦争終結（1975年4月30日サイゴン解放）後20年以上たった今日（1997年3月）、上記のような意図的に残されたもの以外は、一見しては街中にベトナム戦争の痕跡は見られない。しかしよく見れば国土破壊の一端は残っている。私たちが見学したハノイ市とホーチミン市のちょうど中間に位置するベトナムの古都であり観光地となっているフエ（阮朝の都）は1966年2月のテト攻勢のときの激戦の地であった。そこには王宮をはじめ多くの建造物が被害にあった痕跡を残している。王宮の壁には今なお弾痕が残り、王宮内のいくつかの建物が崩壊し瓦礫のままであり、その外側は畑に化していた（いまだ文化財復旧までは手を延ばせないべ

トナムの状態を示しているようである)。そのすぐ側にオンタオという有名なベトナム料理のレストランは破壊されず残り、人気を集めている（私たちが訪とづれたときは結婚の披露宴がにぎやかに盛大に行われていた）。

## ベトナムの物価

私たちが行ったときのベトナム通貨（ドン）の為替レートは1ドル11,000ドン、100円が10,000ドンであった。通貨は紙幣は200ドンから500、1,000、2,000、5,000、10,000、20,000、50,000ドンの8種類あるが（硬貨は無い）、200や500ドンの紙幣にほとんどお目にかかることはなかった。1万ドン、2万ドン、5万ドン紙幣が多く流通していることからみて相当のインフレーションが進んでいたことがうかがえる。

街ではたいていドルは通用するが、円は一部のホテル、土産物店などで通用する程度であるようだ。

生水は止めたほうがよいと言われ、私たちはミネラルウォーターや清涼飲料水を飲んだ。ミネラルウォーターはたいてい1本（1万ドン、1ドル）であったが、値切れれば8,000～6,000ドンで買えた場合もあったし、クチの売店では6,000ドンで売っていた。サイゴンビールの「333」はミネラルウォーターとおなじ1ドル、10,000ドンであった（320ミリリットル缶、ミネラルウォーターや清涼飲料水の値段は日本とあまり変わらないのに、ビールは日本の半値以下、なんとも羨ましい次第）。

私たちの泊まった外国人の観光客を主な客としてしていると思われるハノイのホテルのクリーニング代とホーチミン市のホテルの室料を載せておこう。

TAYHO HOTELのクリーニング代（ハノイ郊外 HO-TAY 湖のほとりに位置するリゾート風ホテル、高級ホテルとおもわれるがそのランクは不明、英語とベトナム語表記、価格はUSD表示）。

|           |           |          |                  |             |                |             |                         |                          |                 |                     |                           |                     |            |                  |            |            |                    |              |                   |              |               |                |            |
|-----------|-----------|----------|------------------|-------------|----------------|-------------|-------------------------|--------------------------|-----------------|---------------------|---------------------------|---------------------|------------|------------------|------------|------------|--------------------|--------------|-------------------|--------------|---------------|----------------|------------|
| Suit 3.00 | Vest 0.50 | Tie 0.30 | Safari-suit 1.50 | Jacket 1.50 | Over coat 1.50 | Blouse 1.00 | Long sleeved shirt 0.70 | Short sleeved shirt 0.50 | Silk shirt 1.00 | Leather jacket 8.00 | Long leather jacket 10.00 | Woolen clothes 0.80 | Dress 1.00 | Night dress 0.50 | Jeans 1.00 | Short 0.50 | Sport clothes 1.50 | Pyjamas 1.00 | Handkerchief 0.05 | T-shirt 0.50 | Trousers 0.80 | Underwear 0.10 | Socks 0.10 |
|-----------|-----------|----------|------------------|-------------|----------------|-------------|-------------------------|--------------------------|-----------------|---------------------|---------------------------|---------------------|------------|------------------|------------|------------|--------------------|--------------|-------------------|--------------|---------------|----------------|------------|

REX HOTELの室料と食事代（ホーチミン市中心部の客室207室の〈旅行案内によれば〉高級ホテル、英語表記、価格ドン〈VND〉表示）

| ROOM TYPE                     | SINGLE OCCUPANCY | DOUBLE OCCUPANCY | MEALS                |         |
|-------------------------------|------------------|------------------|----------------------|---------|
| SUPERIOR                      | 800,000          | 900,000          | AMERICAN BREAKFAST   | 80,000  |
| DELUX                         | 900,000          | 1,000,000        | TABLE D HÔTEL LUNCH  | 134,000 |
| SPECIAL                       | 1,100,000        | 1,200,000        | TABLE D HÔTEL DINNER | 134,000 |
| JUNIOR SUITE                  | 1,300,000        | 1,500,000        | 5%のサービス料             |         |
| REX SUITE                     | 1,500,000        | 1,700,000        |                      |         |
| JUNIOR APARTMENT              | 1,700,000        | 2,000,000        |                      |         |
| SENIOR APARTMENT              | 1,900,000        | 2,200,000        |                      |         |
| TWO-BEDROOM APARTMENT         | 2,100,000        | 2,400,000        |                      |         |
| SUPER SUITE                   | 2,300,000        | 2,600,000        |                      |         |
| EXECUTIVE SUITE               | 7,600,000        | 8,800,000        |                      |         |
| 5%のサービス料。大量予約と長期滞在にはディスカウントする |                  |                  |                      |         |

日本よりやや安いだろうか。ただし、ベトナムの民衆にとっては非常に高いと思われる。

## 南と北

世界の南北問題は南の遅れ・貧困、北の先進・豊かさであるが、ベトナムでは南の繁栄、北の停滞であるかもしれない。気付いた南北差を記しておこう。

ベトナム中部のダナンからホーチミン空港へプロペ機でとんだが、南下するにつれてメコンデルタの緑の肥沃な稲作地帯が眼下に広がった。またホーチミン市周辺には煙突の無い白く輝く屋根の平たい工場群いくつも見られた。この煙突の無い平たい工場は重化学の工場ではなく組立工場である。つまり、南の工業は自動車や電気・電子の組立工業を中心に展開されていることを教えてくれる。

南では水稻が四期作で作られるという。北では二期作である。四期作ともなると粗放化するのであろうか。田圃に条が見られない。そこには稲と区別がつかないほどの雑草がまじって伸びている状態である。北では日本の水田と同じように条をなして植えられており、雑草もほとんど見られなかった（進み過ぎた工業社会の中で生きるよそ者には、この肥沃な穀倉地帯を維持し、公害や効率・能率をひたすら追求し、公害が生じるようになる工業化ではなく、農業国として生きて行く方がよいのではないか、という感慨も生まれた）。なお、ベトナムで好んで食べられる春巻き。その皮は日本と異なり米の粉から造られる（ライスペーパー）。このライスペーパーは農家の副業となっている。その製造を私たちは、ホーチミン市からクチへ行く途中の農家で見ることができた。小さな土間で米の粉を水でといて、鉄板の上で薄く直径25センチ

チ程度の円形に延ばして焼き、それを竹の編板ふうのものに張り付け、天日で干す。そうすると透明な春巻きの皮が出来上る。

またよく知られているようにハノイやホーチミン市は自転車とバイクの、そしてそのけたたましいクラクションの喧噪の街である。ハノイでは街を走る自転車とバイクの割合は7：3程度に感じられたが、ホーチミン市ではそれが逆転し3：7の割合に感じられた（バイクはその9割がホンダの中古だという）。

ハノイでもホーチミンの飛行場や観光地では物売り（扇子やノンラーというあの菅笠などの土産品）や少年の靴みがきがよってくるのは同じであるが、ホーチミン市の方が北より値段が高かった（例えば、扇子はハノイではワンダラー〈1ドル〉と叫んでいたのにたいしてホーチミン市ではトゥダラー〈2ドル〉と叫んで売っていた。手に取って見た訳ではないので品質の違いは解らなかったが）。

治安は南（サイゴン地区）の方が悪いようである。南の宿泊ホテルである前述のREXホテルに着いたとき私たちに同行してくれた旅行社の人からくれぐれも置き引き、引ったくりに注意するよう言われた。そして私たちの同行者の一人はホテルで置き引きされ、一人は路上で引ったくりにあった（これは幸い未遂に終わったが）。ホテル前にはポン引きがたむろしている。夕方、ちょっと出たら若い男が小指を立てて声をかけてきた（アメリカ統治下の旧サイゴンの名残りか）。

### ホーチミン市サイゴン地区の朝

ベトナムには、日本ではそこいらじゅうにあるタバコ、清涼飲料水等の自動販売機はまったく見られない（これは硬貨が無いせいのような）。その代わりやたらに自転車に箱をのせたタバコの立ち売り（タバコ〈大半は洋モクである〉は箱売りだけでなく1本売りもしているようだ。自転車に乗ったおちゃんがタバコを2本買っていくのをバスの中から見た）、果物、お茶・コーヒー、フォーというベトナムうどんなどの露店が多く見られる。そこには、朝となく、夜となく人が群れている。

サイゴン地区の朝は早い（暑さのせいか、ベトナムでは7時や7時半に始まるオフィス・工場が多いと聞いた）。今回の旅行の最終日の前日、私はたまたま早起きをし市中心部にあるホテル周辺の散歩に出た。街なかのちょっとした広場、公園では早朝（6時前）にもかかわらず、太極拳に似た体操をする人々や、バトミントンに興じている人々がいた（バトミントンは流行していたのであろうか）。5時半にはサイゴン大教会のミサが始まっており結構信者が集まっていた。

6時過ぎになると、道路ぞいの小さな食堂や露店が店開きをはじめ、人々がこの食堂や露店

に群がり始める。日本の風呂屋にあるような小さなプラスチックの腰掛けに座り、あるいはしゃがんで一見のんびりとフォーというベトナムうどんやパンを食べ、コーヒーを飲んでいる。路上には香草の強い匂いが漂う。アオザイを着た若い女性も沢山いる。出勤前の朝食のようである。見ていると青いアオザイをまとった若い美人（私にはそう思えた）がしゃがんでフォーを食べ、代金を払い（当たり前か）、そして颯爽とバイクに乗って走り去った。6時半を過ぎるとバイクと自転車の群れが道路一杯にあふれだし、モーターとクラクションの音で騒々しくなり、一層の暑さを感じるようになった。東京の丸の内や銀座、そして新宿の早朝とは全く異なった風景である。

今回の旅では残念ながら汽車に乗ることができなかった。ベトナムの鉄道は日本の線路幅よりさらに狭い狭軌線路である。ハノイからホーチミン市に至る千数百キロの海岸線を、最も早い列車で36時間、遅いもので46時間かけて、一日に数本往復している。韓国、台湾、中国の旅ではわずかな距離ではあるが汽車に乗ることが出来たのに返す返すも残念であった。次を期待したい。

